



# 相ノ木っ子だより



令和5年度  
7月号  
上市町立  
相ノ木小学校

## 自分の健康を自分で守る

先月は、夏真っ盛りとも言えるような暑い日が続きました。まだ体が慣れていなかったせいでしょ  
うか、とても疲れを感じる日々でした。今月に入ると、梅雨が明けてもいないのに日差しが強く照り  
付ける日があったり、そうかと思うと急に豪雨になったりする日が続いています。そんな中でも、子  
供たちは元気に過ごしており、また一段と成長した姿を見せてくれます。6月末の宿泊学習で共同作  
業、野外活動を楽しんだ5・6年生は、協力しながら来拝山に登り、野外炊飯をし、友達との絆を深  
めました。また、5年生は、7月4日にはこんにちは訪問で一人暮らしのお年寄りの方にプレゼント  
を渡してきました。また、7日にはグループホーム逢の希を訪問し、お年寄りの方と一緒に七夕の短  
冊を付けたたり、けん玉を披露したりしました。お年寄りの方々には子供たちの来訪をととても喜んでおら  
れましたし、子供たちも充実した時間を過ごすことができ、福祉について体感できる学びをしてしま  
した。他の学年も、学期末の学習のまとめをしっかりと行い、校外学習やふるさと学習等に楽しく参加  
していました。この調子で、長い夏休みにも、充実した日々を送ってほしいと願います。

とは言え、これからが本当の夏本番。「暑い時期は、ヘルメット着用にこだわらず帽子等で登校して  
もよい」など工夫しながら、熱中症に十分注意しなければなりません。さらには、コロナウイルス感  
染症もまだまだ油断はできません。「周囲との距離をとったり、会話しないようにしたりしてマスクを  
はずすようにする」等、暑さ対策の中にも感染防止にも配慮していく必要があります。

どちらも命にかかわること、自身の健康・安全に重要なことであるからこそ、わたしたち大人が状  
況を判断し、子供たちに示すことも大事です。そのアドバイスを受けて、子供たちがその時その時の  
状況に応じて自分で考え、行動することが必要になってきます。ご家庭でも、健康管理について、ど  
んなことに気を付ければよいか、話し合っていたけるとよいと思います。



## 先生を育てるのはだれ？

もう少しで1学期が終わります。新しい学年に進級し、新しい先生（持ち上がりの先生もおられま  
すが）と一緒に過ごした3か月余り。個人差はありますが、どの子も大きく成長したと思います。

さて、成長したと言えば、先生方も4月に比べて少しずつ成長したように感じます。そもそも1年  
目、2年目の先生と、10年、20年の経験のある先生は、授業にしても行事にしても経験値が違  
いますから、同じようにしたいと思っていてもなかなか難しいと思います。それでは、先生を立派な先

生に育てるのは、誰なのでしょう。校長先生や教頭先生等の管理職と呼ばれる先生や、教育事務所の指導主事の先生方でしょうか。もちろん、それもあると思います。しかし、私は先生を育てている人の一番は、子供たちだと思っています。先生は毎日、何時間も授業をしています。その中で、「これについてどう思いますか？」等の質問（授業用語では発問と言います）をします。それに対する反応も、ある程度予測はしていますが、私の経験からすると、自分の予想をはるかに超えた意見が出てきたとき、「そんなふうにも考えられるんだ！子供ってすごい！」と感動し、もっと頑張ろうと思います。逆に、想定と全く違った反応で、授業がうまく進まなかったとき。これはこれで自分を振り返るチャンスになります。やんちゃでじっとしていない子がいれば、どう対応すべきか悩むことも大切な成長のきっかけです。授業だけでなく、子供と関わる全ての学校生活の中で、成功や失敗を繰り返しながら、子供から学ぶことで先生たちは成長していきます。

また、子供と同じくらい先生を育てているのは保護者の方々です。子供ほど頻繁に接するわけではありませんが、授業参観や懇談会の折に「先生、この間の〇〇の授業、とっても楽しかったと喜んで帰ってきました」「この間の〇〇活動、とてもうれしかったようです」という声を聞くと、「やってよかった、もっと頑張ろう」という意欲が高まります。「ありがとう」の気持ちは言葉にすると伝わるものがたくさんありますね。昔、ある先生が学級懇談会で「私をどんどんおだててください。おだてられるとどんどん頑張るタイプなので」と話されたそうです。「おだてる」と「育てる」は語感も似ていますね。私はそこまでは言えませんでした。あなたが間違っていないように思います。その逆の経験をしたこともあります。1学期末の個別懇談会で、ある保護者の方が「先生の宿題の出し方は手ぬるいと思います。前の先生はこんなふうに出しておられました」と言って、ノートの束を持ってこられた方がおられました。その場では、「そうですね」と一応答えましたが、心の中では正直「絶対にそんなふうにはやらないぞ」と思っていました。これと同様に、例えば、家庭の食事はお母さんが作る人が多いと思います。それに対してお父さんが「おい、となりの〇〇さんの家では、1週間の夕食がこんなメニューになっているそうだ。我が家もこれを見習ってがんばれ」と言われたとします。それを聞いたお母さんは「よし、参考にしてみよう」と思うのでしょうか？私だったら、「じゃあ、となりに行けば！」「それならあなたがつくれば！」と言うと思います。そうではなく、「いつもおいしい食事をありがとう」「今日の〇〇は最高に美味しいね」と言われた方が、うんとやる気が出てきませんか。

相ノ木小学校の保護者の皆さんは、とても協力的な方ばかりだといつも感謝しています。これからもぜひ、一人一人の先生方を、今よりもっともっと育てていきましょう。先生が育つことは、子供たちにとってもきっとプラスになります。もちろん、直すべきところや気になることも遠慮なくお知らせください。それも、成長の機会にしたいと思っています。

## 行事予定 (7月中旬～9月中旬)



7月17日(月)	(祝)海の日	9月1日(金)	第2学期始業式
20日(木)	団体鑑賞 下校 15:30	8日(金)	4年校外学習(富山キリ)
21日(金)	地区児童会 下校 14:15 こども110番の家訪問	9日(土)	町科学展(～9/11)
24日(月)	第1学期終業式 下校 13:45	11日(月)	水泳教室(5・6年)
25日(火)	夏季休業(～8/31)	12日(火)	5年校外学習(常願寺川)
28日(金)	6年親子ふれあい活動(立山登山)	18日(月)	(祝)敬老の日
8月11日(金)	(祝)山の日	21日(木)	3年ふるさと学習
20日(日)	親子奉仕活動 6:00～		
24日(木)	全校登校日		

